

都留市史

通史編

同じく小山田氏の菩提所として臨済宗妙心寺派の金井の富春山桂林寺がある。永享五年（一四三三）に没した格智禅師を開山とし、小山田出羽守富春を開基としている。富春は前述したように小山田信澄に比定されている。後に小山田信茂が中興開基となって再建し、中津森館に隣接しているため歴代の菩提所とした。末寺に山号と寺号を逆にした小形山の桂林山富春寺がある。さらに、上谷の浄土宗智恩院末の長安寺は、開山が金蓮社匡誉上人で、天正一三年（一五八五）に谷村に来て鳥居元忠の帰依によって同寺を開いたといい、この地はかつて小山田氏の別荘地であったともいう。